



# 森ボラ 通信

第 36 号 2005 年 5 月 20 日発行  
北海道森林ボランティア協会  
札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

## ■トピック

### ◆初の収益事業無事完了◆5/17



協会初の収益事業となりました「定山溪カントリークラブ」の修復植樹が 5 月 17 日に完了しました。参加人数は述べ 65 名。7 日間の予定を 5 日と半日で仕上げました。

樹種はアカエゾマツ・モンタナマツ・ブンゲンストウヒ・ニオイヒバ・サクラ 3 種で合計 130 本。2m から 4m の樹高です。作業は①穴掘り②土の混合③植え込み④支柱取り付け⑤給水の繰り返し。自然に役割やリズムができ、流れるように作業が進みました。ゴルフ場は既にオープン

しており、プレイヤーの動きに気を使いながらの作業です。冷たい雨や強風にさらされたつらい日もありましたが、晴れた日は恵庭岳・空沼岳・余市岳など残雪の美しい札幌の山並みが目前に迫り、気持ち良く仕事をすることができました。

「定山溪カントリークラブ」は昭和 41 年開場の歴史あるゴルフ場です。支配人の大場さんは毎日作業場を訪れ、私達の植えた木を目を細めて眺めていらっしゃいました。その眼差しからはゴルフ場に対する愛情が感じられました。大場支配人からは「きれいな仕事をさせていただいた」との評価をいただきました。加治さんの見事なリードのもと怪我も無く、初の請負仕事は納得のうちに終わることができました。今後同様の発注は自信を持って受けられそうです。今回は 3 名の女性参加があり活躍しました。次回はより多くの女性参加も期待します。(柴田) ※決算報告は後報します。

### ◆有明小学校にてしいたけ植菌◆5/9



有明小学校では毎年キノコの栽培を行っているとのことですが、今年は当協会からホダ木を提供させてもらいました。今年は雪が多く、例年ならば 4 月に行う植菌作業も GW 連休明けとなりました。同校には、毎週月曜日の朝に有明タイム(勤労生産活動)という時間が設けられています。この時間を使って 5・6 年生が植菌作業を体験しました。まずは用務員さんがホダ木にドリルで穴を開けます。両端で子供が木を押しさえ、1 列あたり 10 穴開けたら、90 度回転してまた 1 列・・・と 4 列計 40 穴程度あけます。最初はドリルの音や速さに驚き、おっかなびっくりで木の扱いに手間取っていましたが、次第に息が合うよ

うになってきました。穴が開けられた木は横の作業台に運ばれ、先生が容器から駒菌を出し、金槌や木槌で菌が割れないように優しく植える手順を説明します。子供たちは、最初は金槌の使い方も不慣れなのですが、慣れてくると仲間との息も合ってきて、スピードアップ。菌打ちに熱中している様子です。菌を打ち終わると一人が別の場所へ運び、もう一人が新しいホダ木をもらってくるという、絶妙な連携プレー！

一方林の奥の方では、5・6 人の児童が、水をかけるための容器(シート製の水貯めのようなもの)と、伏せの為の木(?)を組んでいました。植菌組とうまく分業して活動していました。

8:40~10:00 まで 1 時間以上も活動しましたが、時間内には全て終わらず、残りは先生に任せました。最後に先生から「今年植えたキノコは 2 年後に生える」ということを聞いて子供たちはがっかりしていま



したが、「中学生になって、見に来てね」と先生がおっしゃると、「〇〇君(学校の目の前に家がある生徒)のうちに置いておいてよ」と一人が言い、皆賛同していました。少数特認校ということで、多くの児童が離れた所から通っており、卒業と同時に離れ離れになってしまうのでしょうか、結束はとても固いのでしょう。遠くから遊びに来る楽しみが一つ増えたようです。(山岸)

#### ◆西野作業開始◆5/6

雪解けが遅れ、風倒木の整理作業に着手できずにいた西野の作業が始まりました。久々に現場に立つと、台風の凄まじさが再びよみがえり茫然とします。幾重にも重なった幹を伝い、潜り、複雑に絡み合った小枝の処理は手鋸と鉋での手作業になります。格闘の末やっと1本片付くペースですが、片付いた場所は確かに明るく、空が広く見えました。すべて片付くまでにはまだまだ時間がかかりそうですが、目に見えて綺麗になる作業は爽快です。人数が物を言う作業、多くの会員の参加を待っています。(柴田)

### ■お知らせ

#### ◆野幌森林公園の担当場所決まる◆

4月28日。石狩地域森林環境保全ふれあいセンターから電話とFAXで、野幌森林公園の18号台風被害地修復の担当場所決定の連絡が入りました。公園のほぼ真中あたり1.85畝が割り当てられました。現場を見てきましたが、かなりひどい状況で、やりがいのある場所です。じっくり取り組みましょう。

現場は下図の指マーク辺り、待ち合わせは新札幌駅、右図の「ココデネ」マークです。



地図著作・制作 (株)アルプス社

地図システム運営 (株)サイバーマップ・ジャパン

この地図の作製に当たっては、国土交通省国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、20万分の1地勢図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平12総使、第492号)

#### ◆澄川追加作業

5月23日(月)澄川にてキノコのホダ木のメンテナンス作業を行います。林内に残置したホダ木は持ち上げて一部は薪に、30本は幌南小学校に寄付することになりました。当日の午後渡辺校長が取りに来ますので、道路際まで持ち上げる作業も行います。9:30真駒内集合です。

#### ◆島牧村ブナ林見学ツアー

昨秋は黒松内のブナ林を見学しましたが、今年は島牧村に新緑のブナを見に行きます。島牧のブナ林は10,000haを超えるブナの原生林が広がる狩場山地にあります。1日目にはタケノコ狩りも予定しています。

【開催日】6月23日(木)～6月24日(金)

【宿泊先】宮内温泉旅館

島牧村字泊431 TEL:0136-75-6320

【会費】10,000円

【待合せ】黒松内道の駅12:00

前号でCGCより寄贈していただいた軽トラの愛称を募集しましたが、3名の会員から応募がありました。どれも魅力的なネーミングで迷います。皆さんの人気投票で決定することになりました。今月の参加申込書に掲載した投票欄で投票をお願いします。

(和田さん案)

- コタンコロカムイ(しまふくろう) / アイヌ語で村を守る神
- イソサンケカムイ(えぞふくろう) / アイヌ語で海幸山幸をもたらす神
- コロポックル / ふきの葉の下の小人、いたずらもするが人々に幸せをもたらしてくれる神

(石川さん案)

- ホレタ号 / ホレスターをもじって
- キリン号 / 木・林の訓・音から

(山中さん案)

- キャリコ / CARRY(運ぶ) + ECOLOGY

#### ◆登山計画の予告

今年7月中旬に羊蹄山(1898M)登山を計画します。この山の難易度は「中級」で、初心者は今から手稲山などでトレーニングをおすすめします。無策で気軽に登れる山ではありません。

登山計画及び参加者募集は6月の森ボラ通信に掲載します。(山中・加治)

#### ■今月のその他の動き

##### ◆有明小学校校長交代◆

5月12日(木)有明小学校を訪問。山室隆幸新校長に挨拶してきました。用件は「道新ボランティア奨励賞」に申請するについて、推薦をいただきくことでした。澄川で採材提供したシイタケ用のほだ木が殖菌されて積み上げてありました。

##### ◆5月定例幹事会◆

5月11日(水)。5月定例幹事会を行いました。

●野幌森林公園作業について。6月から取組み開始するについて、6月のスケジュールを組替えについて、検討しました。結果は「作業参加申込書」のとおりです。

●新幹事の件。杉本茂、山中司の2氏が幹事役を引受けてくださることになりました。6月幹事会から参加いただきます。

●北海道神宮作業計画。5月中にまとめて神宮側と詳細すりあわ`を行うことになりました。

●入林交通費について。セブン・イレブンみどりの基金が交通費を認めてくれましたので、支払い事務を進行しています。

●その他

- ①撫順市緑化支援初年度最終派遣（芝、高野）6月中旬に行う予定。
  - ②林内トイレの設置を行います。柴田さんに設備手配等を一任しました。
  - ③屯田防風林支援は進行しています。地元が調整中
  - ④えりも海岸防砂林間伐支援について調整しています。時期は秋になります。
- 出席幹事：加治、酒井、柴田、西野、棟方、村上、高野

#### ◆みどりの羽街頭募金◆

4月29日、道庁赤レンガ前広場で平成17年度のみどりの羽共同募金の街頭募金出陣式がありました。森と緑の会の堀会長、高橋知事等お歴々の挨拶の後、ボーイ&ガールスカウトの代表が元気に宣誓して募金がスタートしましたが、10日～15日の街頭募金は、寒さに会員の出足も鈍った今年度の活動となりました。

#### ◆二青会との最終調整◆

4月28日。二青会の岩本氏、角川氏の2幹事役が来協され、5月27日の最終打合せを行いました。午後からの植樹のやり方、場所を変えてのジンギスカンコンパのやり方等等を打合せました。

#### ◆札幌市に有明第二植樹計画届出◆

4月27日。札幌市に対して、有明第二の植樹計画を提示しました。5月27日の二青会植樹分を含め、今年度の計画を届けました。

#### ◆ゴルフ場リハーサル◆

4月26日（月）参加10名。一番ホールのグリーン奥で、穴掘り機（オーガー）の使用練習、偽樹による支柱の立て方および固定のロープワーク等の訓練を行い、作業手順を確認しました。これで本番にむけて自信が出てきたように思われました。

参加者：酒井、高野、加治、三和、津金、山中、湯澤、和田、荒船、柴田

#### ◆うれしいお報せ セブン・イレブンみどりの基金より助成金160万円通知◆

セブン・イレブンみどりの基金から助成金決定の通知がとどきました。160万円満額承認されました。これで森林施業面での装備が一段と充実することになります。ありがとうございました。

#### ◆ゴルフ場植樹植木手当て◆

4月22日。加治さん、高野で大場支配人と物産林業を訪問、植木の購入につき最終打合せをしてきました。樹高等を含め現物の確認をしました。

## ■コラム

#### ◆この小さな袋は何？◆



上の繭の下方に見える黒い斑点は卵です。

何かわかりますか？これは「ウスタビガ（薄手火蛾）」という蛾の仲間の繭。5月3日、有明で酒井さんを見つけました。冬が迫る10月頃に羽化するとすぐにオスが飛んできて交尾し、メスは抜け出たばかりの繭や小枝に産卵してせわしなく一生を終えます。卵は越冬し翌春に孵化します。幼虫はミズナラなどの葉を食べ成長し、夏頃に繭を作ります。幼虫は触られると「キューキュー」鳴くそうです。

日に焼けて変色していますが、繭も幼虫も鮮やかな緑色で葉が茂っている間はなかなか見つけられません。作業中、私達の周りでは小さな命がせっせと動き続けていたのですね。こんな虫達がたくさんいて、鳥達がたくさん集まって、山は賑やかになります。



長野で拾った繭。奇跡のような色です。

生きている山は生き物の気配に満ちた山です。この気配が感じられるとき、私達は心から安心できるのではないのでしょうか。そんな場所が消えぬようお願いしつつ、これからも活動を続けたいものです。（柴田）